

助産フィジカルアセスメント方法論

単位数：2単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授
山下 瞳：産婦人科学講座 助教
石橋 朋佳：産婦人科学講座 助教
スキルアップセンター

1. 科目の教育方針

高度実践職業人の助産診断と助産ケアに必要な技術力として、胎児および乳腺の超音波検査断層法、会陰部の縫合技術などの基礎的知識と技術を習得する。さらに、母体急変時の初期対応および新生児蘇生法など助産実践に必要な技術を修得する。

2. 教育目標

- 1) 超音波検査の操作技術の習得と妊娠期・産褥期の超音波画像の基礎的評価能力の修得ができる。
- 2) 会陰切開・裂傷縫合の基本的知識について理解できる。
- 3) 新生児の救急蘇生に対応するための知識と技術を修得する (NCPR のライセンス取得)。
- 4) 母体急変時の初期対応についての知識と技術を修得できる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

シミュレーション教育によって必要なスキルを修得する。

【評価】

筆記試験、技術試験、レポートにて総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

適時、提示する。

5. 教育内容

回	内 容	講師
1	超音波検査の原理と操作法などの基礎、臨床上の意義	山下
2~5	超音波診断装置の基本的操作の説明と理解 胎児推定体重の算出（演習）超音波試験	石橋
6	スメア	産婦人科医師
7~12	NCPR A コース	スキルアップセンター
13~17	乳腺 フィジカルアセスメント 超音波（演習）	乳腺科医
18~22	ICLS	スキルアップセンター
23~28	ALSO	加藤
29~30	縫合演習	産婦人科医師